

2022年7月教会便り 美唄～砂川

主任司祭 ナルチゾ神父



7月1日 17世紀福者ペトロ岐部司祭と 187殉教者を祝います。
 ペトロ岐部と 187殉教者は、1603年から 1639年にかけて殉教した日本人である。日本各地を代表しており、社会的立場も司祭、武士、商人、家族、女性、障がいのある人、子どもと多岐にわたっている。188人のうち、司祭が4人、修道者1人、他の183人は信徒であり、徳川幕府時代の厳しい迫害にもかかわらず、いのちをささげることによって信仰を証した。地域別にみて、人数が多いのは京都のヨハネ橋本太兵衛をはじめとする52名と、米沢のリス甘糟右衛門ら53名である。また、生月の西一家、京都の橋本一家、加賀山・小笠原一族、島原の内堀一家は、家族が信仰のきずなで結ばれ、励まし合い、支えあって殉教していった。

ペトロ岐部は「世界を歩いた神父」として知られている。確かにその生涯は旅であった。だが彼をその旅に駆り立てた力は、神と同胞に対する愛のほかにはない。ペトロは司祭となって帰国し、迫害に苦しむ日本の教会のために自分を与え尽くすことを熱望した。

ペトロ岐部は、1587年、豊後の国 国東半島の岐部に生まれ、少年時代は有馬のセミナリオで育てられた。その時イエズス会に入会する私的な誓願を立てたという。後に同宿になったペトロは、1614年、宣教師とともにマカオに追放された。だがそこでは彼の意に反し、司祭への道も閉ざされたと思われた。神と同胞に尽くしたいとの耐え難い望みに駆られ、ペトロ岐部は、1618年ころ、マカオを出奔し、インドのゴアまで行った。そこから現在のパキスタン、イラン、イラク、ヨルダンなどを横断した。ことばも風俗も知らず、砂漠の生活になれない者の一人旅は、生死をかけた決死行である。エルサレムに立ち寄って聖地巡礼をした後、彼がローマにたどり着いたのは、1620年であったと思われる。

ペトロ岐部は、ようやくの思いでローマのイエズス会の修練院を訪ねたが、非情にも、彼を受け入れないよとの回状が、すでにマカオから届いていたことを知る由もなかった。

しかしペトロ岐部に会ったイエズス会の長上たちは、彼の司祭叙階に便宜を計った。1620年、司祭に叙階されてすぐ、イエズス会への入会が許された。リスボンに移って誓願を立てたペトロは、帰国の途についた。交易船を利用して日本に上陸しようと考えたが、マカオ、アユタヤ、マニラとも、そのとき、すでに鎖国の日本との貿易を打ち切っていた。それでもペトロ岐部は帰国を断念することなく、1630年、ついに薩摩の坊津に上陸することができた。リスボンを出帆してから、8年の歳月が流れていた。潜伏期の彼の心情をよく表す一つのエピソードが、マカオのコレジオの院長マヌエル・ディアスの手紙に記されている。1633年、中浦ジュリアンたちの殉教の時、岐部神父は長崎の山中に潜伏していた。フェレイラが背教したと聞いて、夜中、山から下りて町に入り、フェレイラに会って次のように励ました。「神父様、一緒に奉行所へ参りましょう。あなたは背教を取り消し、私とともに死にましょう」。フェレイラは断ったが、岐部の行動は兄弟の救いを願う司祭の心情をよく表している。その後、岐部神父は活動を東北地方に移し、そこで数年間活動したが、もはや潜伏は困難であることを悟り、宿主に害が及ばぬよう仙台で捕らえられることにした。



江戸に護送されて取り調べを受け、これには将軍家光が直々に立ち会ったこともあった。さまざまな拷問の末、取り調べ奉行井上筑後守の命により穴吊りにされた。それでも信仰を捨てないペトロ岐部を見た役人は、真っ赤に焼けた鉄棒を彼の腹に押しつけ、絶命させた。ペトロ岐部の処刑について記した井上筑後守直筆の所見が、今も残っている。「キベヘイトロはコロび申さず候」

7月の主な典礼・ミサ時刻

日	曜	典礼暦	砂川	美唄
3	日	年間第14主日 P4 平和を願う 当教会出身聖職者・修道者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:本田 第2:西川薫 典礼聖歌:安藤/高塚 オルガン:野呂	11:00
10	日	年間第15主日 司祭と召出を求めのために祈る日	9:00 ミサ 先読み:多田 第1:古野 第2:斉藤 典礼聖歌:間野/野呂 オルガン:多田	11:00
17	日	年間第16主日 病者と洗礼志願者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:岡本 第2:三上朋 典礼聖歌:多田/古野 オルガン:野呂	11:00
24	日	年間第17主日 祖父母と高齢者のための世界祈願日	9:00 ミサ 先読み:野呂 第1:西川薫 第2:間野 典礼聖歌:安藤/高塚 オルガン:多田	11:00
31	日	年間第18主日 教会から離れた信者のために祈る日	9:00 ミサ 先読み:高塚 第1:斉藤 第2:岡本 典礼聖歌:三上夫妻 オルガン:野呂	11:00

◆平日のミサ ○砂川教会:月曜日～金曜日 6:30、土曜日 10:00 ○美唄教会:金曜日10:30

◆今月の霊名記念日の方…おめでとうございます(敬称略)

○砂川教会

6日 トマス・モーア 本田信輔
 11日 聖ベネディクト修院長 谷津良勝神父
 29日 聖マルタ 篠田美代子

○美唄教会

1日 ペトロ岐部 菅野 雄太郎
 3日 トマス 小川 昇
 6日 マリアゴレッター 岡 由紀子
 11日 ベネディクト 河野 二郎
 16日 カルメル山のマリア 谷 由美子
 26日 アンナ 菅野 まり子、菅野向日葵
 州之内京子

◆砂川教会 お知らせ

- ・ 8日(金) ロザリオ会 午後7時 信徒会室
- ・ 10日(日) 大掃除を予定
- ・ 毎週水曜日 10:00～ 聖書に親しむ会を実施しています。

砂川 花当番	
2日(土)	千田
9日(土)	安藤
16日(土)	多比良
23日(土)	室井
30日(土)	岡本

97才現役看護師の仕事がある限り働き続ける生き方

死ぬまで働く。 池田きぬ

1924年(大正14年)誕生 三重県一志郡大井村
 1941年 17才 地元の女学校卒業。赤十字の看護学校へ進む。
 1943年 19才 湯河原の寮の療養所に看護要員として召集される。
 1946年 22才 召集解除。三重県に戻る。



朝5時起床。時間通り整列点呼してそれぞれの病棟に向かう。軍隊のように上下関係がきびしく命令が絶対。嫌だと思ったことはなくむしろ規律の生活が身につき良かった。若い人達には自分の経験を押しつけず経験をふまえた話をさせてもらいます。戦争が終っても「三尺下って師の影を踏まず」という時代でした。婦長さんにもものを言ふ時は直接ではなく、その下の主人さんを通すべきでした。今は時代は違います。嫌いな上司には自分も完璧な人間でないから相手ばかり責めないようにしてなるべくその人の良いところを探すように。職場にはいろいろな人がいます。気の合わない人もいます。そんなときは「この人にはこんな良い部分がある」と思うように。苦労が人間性を作りあげてくれる。一生涯を貫く仕事を持つありがたさを。

福沢諭吉の心得

- 世の中で一番楽しく立派なことは一生涯を貫く仕事を持つということです。
- 世の中で一番みじめなことは教養のないことです。
- 世の中で一番淋しいことは仕事のないことです。
- 世の中で一番みにくいことは他人の生活をうらやむことです。
- 世の中で一番尊いことは人のために奉仕し決して恩にきせないことです。
- 世の中で一番美しいことはすべてのものに愛情を持つことです。
- 世の中で一番悲しいことは嘘をつくことです。

この教訓を居間のかべに貼ってこんな風にすごせているか振り返るようにしています。あと3年もすると100才に成ります。姪が(姉の娘で姉が病のとき2年ほど一緒に介護した経験がある)同居を進めてくれてとてもうれしいのですが甘えるわけにはいかない。来年再来年の自分の様子を見ながら決めなければ。最近ボランティアをしたいと目標が出きました。もし施設に入ることになったらCDプレイヤーを持って行って入居者の皆さんと音楽をかけ歌を歌おうと思います。2018年6月 75才以上医療関係者に贈られる「山上の光賞」を受賞。約20年前、夫が他界し以来ひとり暮らし。

以上、池田きぬ書から抜粋させていただきました。

年齢を言い訳にして甘えず自分でできることをこなし、生かされていることに感謝しつつ歩んでいかなければと思いました。神に感謝 木村 知栄子